

# 令和元年度社会福祉法人両沼厚生会事業報告書

## 1. 事業の概況

### (1) 一般的概況

福祉・介護事業を取り巻く環境は、社会福祉法改正に伴い事業運営の透明性や財務規律の強化など、より充実したサービスの提供に向けて「人材の確保」、「職員定着」の対応が求められております。しかし、福祉・介護事業は急速な少子高齢化の進展や人口減少社会の到来などにより社会保障費の抑制や全国的な介護人材不足が深刻な状態にあり、介護保険事業者にとっては厳しい事業経営を余議なくされている。

更に、平成31年4月より「働き方改革関連法」が施行され、働きやすい職場環境の整備が求められるなど社会福祉法人にとっても大きな変革期を迎えてきた。

このような状況の中で本会は、職員の処遇改善や年次有給休暇取得推進など働きやすい職場環境の整備を図りながら「人材の確保」、「職員定着」に努めた。

また、地域包括ケア等の充実や特別養護老人ホーム利用者の重度化に伴う円滑な事業運営体制を構築するため協力病院や関係機関等との連携を図るとともに、老人福祉法の理念に基づき高齢者が個々の尊厳を保持し地域社会において、生きがいのある生活を営むことができるよう総合的な福祉サービスの提供と経営基盤の確立に努めた。

### (2) 実施事項

#### ①施設利用状況について(会津寿楽荘・福柳苑)

利用者の重度化や病状悪化による入院・施設退所等が増加傾向にある中、次期入所者の早期入所に努めるなど利用者や家族の要望に応えるとともに健全な事業運営と収支の均衡に努めた。更に利用者の健康管理と感染症流行期の予防対策の徹底に努め発症を防ぐことができた。

会津寿楽荘においては入所利用人員延べ27,347人、一日平均74.7人、予算対比98.3%、前年対比100.9%の実績となった。

福柳苑においては入所利用人員延べ27,600人、一日平均75.4人、予算対比99.2%、前年対比101.7%の実績となった。

#### ②施設利用者のサービス向上について

- ・ 利用者個々の人権やプライバシーを尊重し、法人理念である安心と信頼に応えられる真心のこもった施設サービスの提供に努めた。
- ・ 重度化した利用者の健康状態の把握に努め、協力病院との連携を密にし、疾病の早期発見や対応等の健康管理に努めた。
- ・ 身体拘束廃止・事故防止対策等の施設内研修会を開催し、ケアの充実と職員の資質向上に努めた。
- ・ インフルエンザやノロウイルスなど感染症流行期において職員研修や家族の協力を得ながら感染予防対策の徹底に努めた。
- ・ 家族等の意思を尊重し施設で安らかな最期を迎えられるよう各部署と連携を図

った看取りケアの取組や支援に努めた。

- ・ 日常生活動作の現状を把握し残存機能の保持と自立支援に向けた機能訓練を実施し、日常生活動作の向上等に努めた。
- ・ 行事食やお楽しみ食事会など嗜好・希望を取入れ、利用者が楽しみとなる食事の提供と栄養ケアマネジメントによる栄養状態の把握と改善に努めた。
- ・ 機関紙を発行し、施設及び利用者の状況等を伝え、家族との信頼関係の構築と地域に開かれた施設づくりに努めた。

### ③在宅サービスの推進について

#### ○短期入所生活介護事業（会津寿楽荘・福柳苑）

施設入所等により利用者数が減少傾向となる中、関係事業所との連携に努め新規利用者の確保と要介護高齢者並びに介護者の身体的、精神的負担の軽減を図るため事業を推進した。

会津寿楽荘では延べ 3,117 人、一日平均 8.5 人、予算対比 71.0%、前年対比 112.0%、福柳苑では延べ 1,646 人、一日平均 4.5 人、予算対比 75.0%、前年対比 93.3%の実績となった。

#### ○訪問介護事業(会津坂下ホームヘルプサービスセンター)

施設入所等其他サービスへの移行により利用者数が減少傾向にある中、関係事業所との連携に努め新規利用者の確保と利用者の日常生活上の援助並びに介護者の負担軽減を図るため支援を行った。また、登録ヘルパーの効率的な連携体制によりサービスの質的向上に努めた。

利用者への派遣延べ時間 10,251 時間、一日平均 28.0 時間、予算対比 80.0%、前年対比 99.8%、精神障害者への派遣延べ時間 65.0 時間、予算対比 88.8%、前年対比 120.4%、身体障害者への派遣延べ時間 1,637.0 時間、予算対比 111.8%、前年対比 110.5%の実績となった。

#### ○通所介護事業（会津坂下デイサービスセンター・柳津デイサービスセンター）

居宅介護支援事業所や関係機関との連携に努め、在宅高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、積極的に事業を推進した。

その結果会津坂下デイサービスセンターでは利用人員延べ 8,555 人、一日平均 27.7 人、予算対比 86.5%、前年対比 94.0%の実績となった。柳津デイサービスセンターでは、利用人員延べ 6,297 人、一日平均 24.3 人、予算対比 97.3%、前年対比 101.2%の実績であった。

会津坂下デイサービスセンターでは、会津坂下町社会福祉協議会からの委託により介護保険外の通所事業・訪問給食事業を実施し、高齢者の安否を確認しながらの訪問給食事業延べ 781 食、一回平均 7.5 食の実績となった。

また、柳津デイサービスセンターでは柳津町からの委託により介護予防・日常

生活支援総合事業を実施し、通所型サービスにおいて高齢者が要介護状態等になることを予防するとともに、自立した日常生活が継続できるよう支援した。その結果延べ764人、一回平均16.3人の実績となった。

○認知症対応型共同生活介護事業(グループホーム結和)

関係機関との連携を図り利用者の確保と円滑な事業推進に努め、住み慣れた地域で家庭的な雰囲気と家族的な関わりの中で安心して生活できるよう支援に努めた。

その結果利用人員延べ3,130名、一日平均8.6名、予算対比100.6%、前年対比98.0%の実績となった。

○居宅介護支援事業(会津寿楽居宅介護支援事業所・柳津居宅介護支援事業所)

各種介護サービス提供事業者等との連携を図り、利用者・家族の状況を把握しながら適正なケアプラン作成とサービスの利用を推進した。また、主任介護支援専門員の指導のもと困難事例への取組みや質の高い継続的なサービスの管理を行った。

また、地域包括支援センターからの委託により、軽度者の予防プランの作成等を実施し、地域の高齢者の自立支援にも努めた。

会津寿楽指定居宅介護支援事業所のプラン作成件数が1,300件、予算対比83.3%、前年対比89.3%、柳津指定居宅介護支援事業所のプラン作成件数が1,091件、予算対比107.0%、前年対比109.1%の実績であった。

○地域包括支援センター(柳津町地域包括支援センター)

地域高齢者等の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するとともに、中立的立場で介護予防・総合相談・虐待防止・支援困難ケースの対応等に努めた。

また、本年度より認知症カフェの開設など支援サービスを地域に広げ、支え合いのある地域づくりを推進した。

柳津町地域包括支援センターの相談件数延べ1,175件、プラン作成件数が延べ754件、予算対比84.8%、前年対比83.1%の実績となった。

○高齢者生活福祉センター(柳津町高齢者生活福祉センター)

居住部門において独居高齢者や老夫婦世帯等に対して冬期間等の一定期間住居を提供し、利用者が住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう各種相談や助言等を行いながら不安解消に努めた。利用人員延べ605人、一日平均1.7人、前年対比71.6%の実績となった。

④地域社会との交流について

- ・地域ボランティア組織や学校・行政などとの連携を図り、積極的にボランティアや実習生の受け入れを行うとともに、講師を派遣するなど福祉・介護への理解が

得られるよう努めた。

- ・地域と密接な連携を図るよう努めるとともに施設行事にも広く地域住民の参加を求め、開かれた施設づくりに努めた。また、地域の諸行事等にも積極的に参加し地域との交流努めた。

#### ⑤防災管理体制について

職員の役割分担と責任を明確にし、設備点検、予防査察の徹底、関係機関との連携等を図りながら、火災・地震・土砂災害等の各種非常災害に備え訓練を実施し、新人教育や職員へより一層の防災意識の高揚に努めた。

#### ⑥職員の資質向上について

福祉従事者としての専門的知識、技能を修得させるため、職員を各種研修会、講習会等に参加させ、全体では研修会参加者延べ176名、参加延べ日数138日となった。また、外部講師を招いた園内研修会を積極的に開催するとともに、専門資格取得の支援を行うなど、専門分野での知識・技術の習得を図りながら職員の資質向上に努めた。

#### 外部研修内訳

事業所名	参加者延べ人数	参加延べ日数
特別養護老人ホーム会津寿楽荘	39名	27日
特別養護老人ホーム福柳苑	23名	20日
会津坂下ホームヘルプサービスセンター	6名	6日
会津坂下デイサービスセンター	12名	12日
柳津デイサービスセンター	10名	9日
グループホーム結和	20名	18日
会津寿楽指定居宅介護支援事業所	40名	23日
柳津指定居宅介護支援事業所	7名	5日
柳津町地域包括支援センター	19名	18日
柳津町高齢者生活福祉センター	0名	0日
合 計	176名	138日